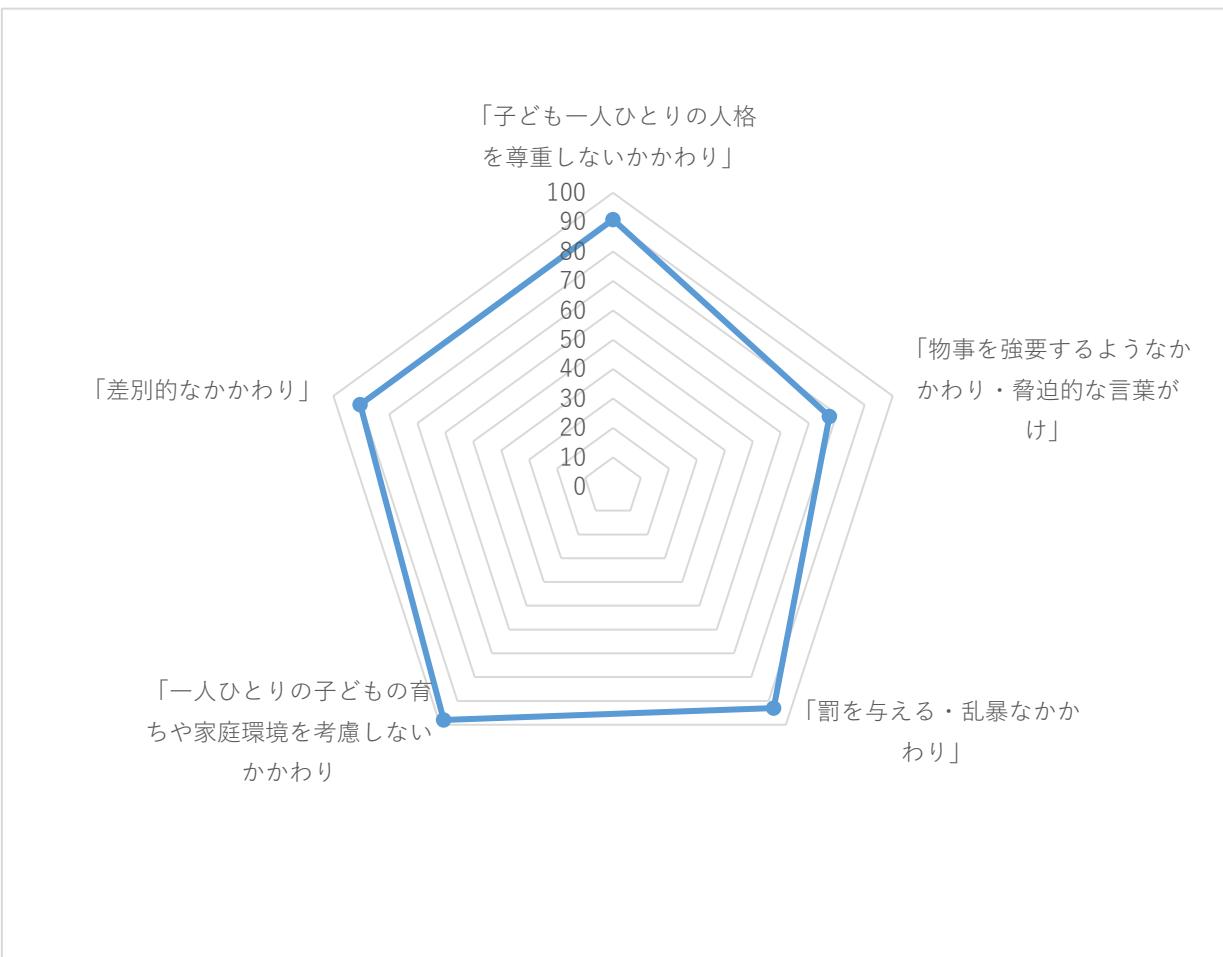


令和7年度 垂見保育園自己評価

～「子どもを尊重する保育」のために～

【レーダチャート】

* 輪の大きさが大きいほど、「良いかかわり」が達成できています（%）



【園長所見】

「物事を強要するようなかかわり・脅迫的な言葉がけ」の事項が昨年よりも評価が良くなっています。これはこの事項に対する保育士一人ひとりの問題意識が高まり、良い方向へ向かっているのだと思います。近年、不適切保育が問題になることが多く、保育士一人ひとりが意識をたかく持ち、子ども達一人ひとりとしっかり向き合い、良いかかわりや声かけを意識した「質の高い」保育を実践して欲しいと思います。

園長 大橋真一